

「完全合格コース」でストレート合格を目指す方法

当セミナーでは「＜年内週 1＞完全合格コース」のカリキュラム内容、簿記論・財務諸表論での学習内容や同時学習のポイントなどお伝えしていきます。

1. 税理士試験の概要

①税理士試験全 11 科目

科目		学習時間のめやす
必須科目	簿記論	450時間
	財務諸表論	450時間
選択必須科目	所得税法	600時間
	法人税法	600時間
選択科目	相続税法	450時間
	消費税法	300時間
	酒税法	150時間
	固定資産税	250時間
	事業税	200時間
	住民税	200時間
	国税徴収法	150時間

5 科目合格
＝税理士有資格者

※税理士登録には「実務経験が 2 年以上」である必要があります

※学習時間のめやす…TAC の講義時間を含みますが、理論暗記に要する時間は個人差があるため含めておりません。

○科目ごとに受験できます！

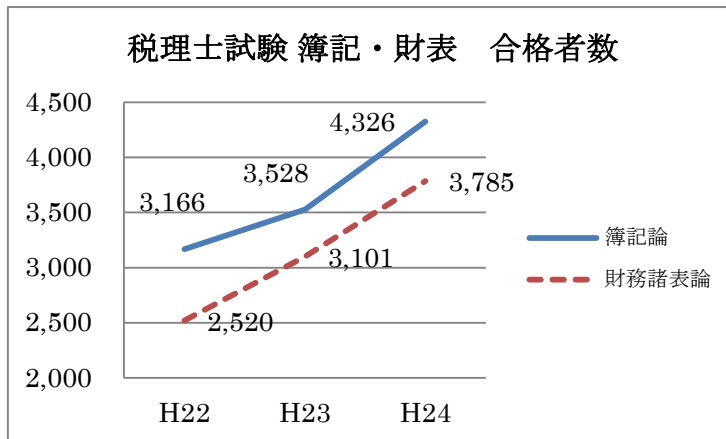
- ▶働きながら突破することが可能（上記の通り 1 科目 150~600 時間）
- ▶科目合格は生涯有効で、1 科目でも就職や転職時に好評価
- ▶税理士試験に初めてチャレンジされる方には、簿記論・財務諸表論の会計科目からの受験がオススメ（税法の学習時に会計の知識を活かせる）
- ▶簿記論（450 時間）・財務諸表論（450 時間）を同時学習する場合、科目間に共通項目が多いため、750 時間程度の学習時間に短縮できる

○簿記論・財務諸表論の学習には日商簿記 2 級商業簿記レベルの知識が必要です

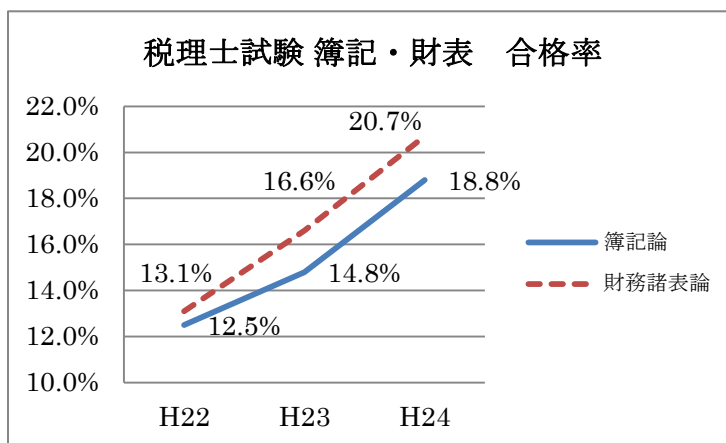
- ▶簿記の学習が初めての方は「簿記入門Ⅰ・Ⅱ」を学習することで、税理士試験の学習に必要な簿記の知識を習得できる

②近年の受験状況

簿記論、財務諸表論の合格率は近年上昇しています！



◀
例えば、簿記論の平成 24 年度合格者数は平成 22 年度より 1,160 名増加
(受験者数は 2,331 名減少)

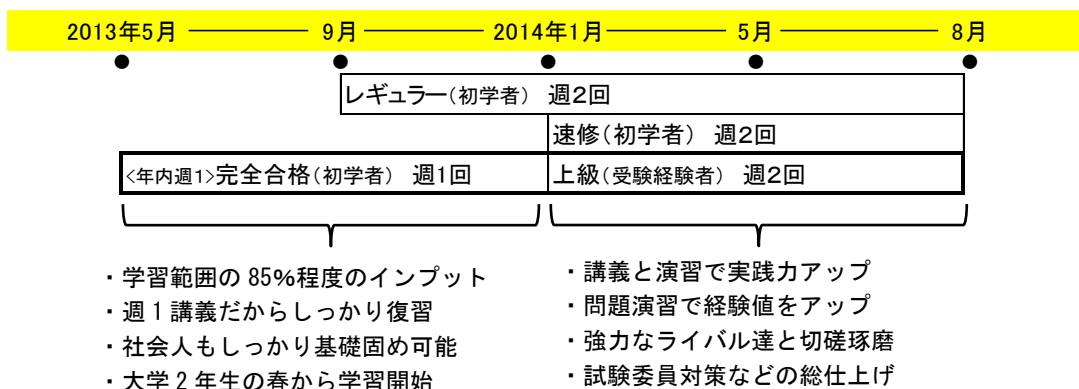


◀
例えば、簿記論は平成 24 年度合格率は平成 22 年より 6.3 ポイント増加

受験者数が減少の中で、合格者数が増加、合格率が上がっています。

⇒今が受験のチャンスです！

2. TAC「＜年内週1＞完全合格コース」のイメージ



3. 簿記論の学習範囲

①本試験の出題範囲

複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織、商業簿記のほか工業簿記を含む。
ただし、原価計算を除く。

②本試験問題

3 問形式ですべて計算問題が出題されます。第一問と第二問はそれぞれ学者試験委員（大学教授）が担当し、第三問は2名の実務家試験委員（税理士・公認会計士）が担当します。配点は、第一問・第二問がそれぞれ 25 点、第三問が 50 点の合計 100 点となっています。

③学習内容

簿記論では日商簿記検定の延長線上の学習で、仕訳を中心とした帳簿上の手続を学習していきます。

4. 財務諸表論の学習範囲

①本試験の出題範囲

会計原則、企業会計原則、企業会計の諸基準、会社法中計算等に関する規定、会社計算規則（ただし、特定の事業を行う会社についての特例を除く）、財務諸表等の用語・様式及び作成方法に関する規則、連結財務諸表の用語・様式及び作成方法に関する規則

②本試験問題

3 問形式で出題されます。第一問と第二問はそれぞれ学者試験委員（大学教授）が理論問題を担当し、第三問は2名の試験委員（税理士・公認会計士）が計算問題を担当します。配点は、第一問・第二問がそれぞれ 25 点、第三問が 50 点の合計 100 点となっています。

③学習内容

・計算

各論点の具体的な会計処理の習得（簿記論との相乗効果が認められる）
株主総会提出用の財務諸表の作成

・理論

「企業会計基準」の理解と暗記

※企業会計基準とは、会計処理や帳簿の記録をする際に、正しいとされる処理・記録方法についてまとめられているルールブックをいう。

5. 簿記論と財務諸表論の学習内容の関連性

簿記論と財務諸表論（計算）で学習する会計処理や計算方法は全く同じであり、同時に学習すると学習内容が重複するため、学習時間を短縮できます。また、それぞれの科目で繰り返し同一の内容に触れることになるため、知識は定着しやすくなります。

さらに、財務諸表論（理論）でこれらの会計処理や表紙を行う理由等について学習することで、各論点に関する理解が深まります。

6. 簿記論と財務諸表論の同時学習について

学習時間に応じて、2科目学習するかを判断してください。学習時間が限られている方は、1年目簿記論、2年目財務諸表論の順番で続けて学習をしてください。他の科目を2年目に学習する、または財務諸表論から学習することはオススメできません。

- | | |
|--------------------------|-------------|
| A. 週 25 時間以上の学習時間が確保できる方 | ⇒ 簿記論＋財務諸表論 |
| B. 日商簿記 1 級レベルの知識をお持ちの方 | ⇒ 簿記論＋財務諸表論 |
| C. 上記 A・B にあてはまらない方 | ⇒ 簿記論 |

～オススメのパック申込～

A パターンにオススメ ⇒ 「3 年本科生（14 年・15 年・16 年受験）」

A で学習に専念される方 ⇒ 「2 年本科生（14 年・15 年受験）」

B パターンにオススメ ⇒ 「簿財パック A（14 年受験）」

C パターンにオススメ ⇒ 「2 年 2 科目フリーパック（14 年・15 年受験）」

「動画チャンネル」をご覧ください。ご不明な点がございましたら、TAC各校舎またはTACカスタマーセンター（0120-509-117）にお問い合わせください。

▶ [＜年内週1＞完全合格コースの詳細はこちら](#)

▶ [本科生・パック生の詳細はこちら](#)

▶ [パンフレットの請求はこちら](#)